

# 【整備効果①】 冬期の慢性的な渋滞が解消！

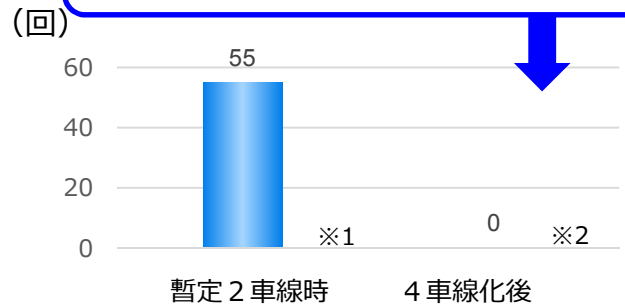
- 白鳥IC～高鷲IC間で課題となっていた冬期の交通集中による渋滞は、**4車線化によりゼロに！**
- 渋滞解消によりアクセス性が向上し、沿線施設への立寄りの増加など、**観光振興に寄与**

## ◆ 冬期の慢性的な渋滞の解消



○冬期の渋滞回数（白鳥IC～飛騨清見IC）

交通集中による冬期の渋滞が  
4車線化により**解消！**



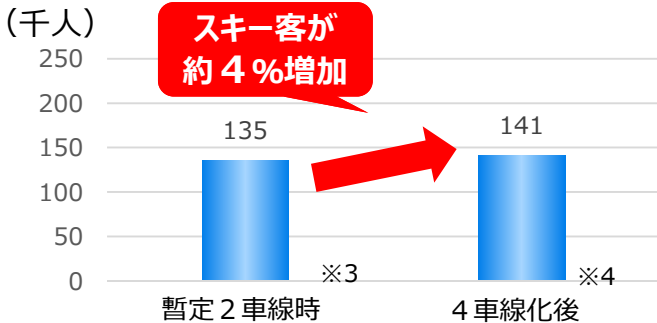
※1：2017年12月4日～2018年3月25日の渋滞発生回数  
※2：2018年12月3日～2019年3月24日の渋滞発生回数

○冬期の渋滞の様子（過去の例）



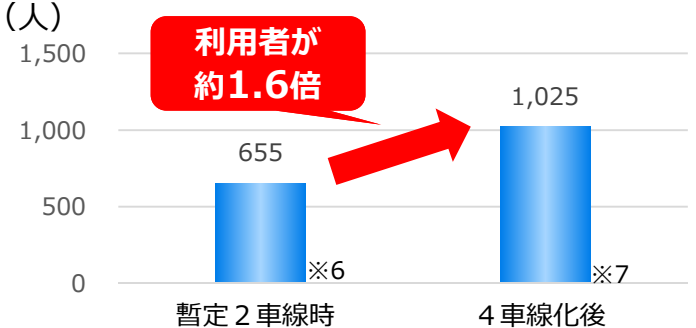
## ◆ 冬期のレジャーや観光振興に寄与

○スキー場の入込客数の推移



※3：2018年1月～2018年2月の入込客数  
※4：2019年1月～2019年2月の入込客数

○温浴施設利用者（スキー客）数の推移



※5：スキー場割引券の利用者を対象  
※6：2016年12月～2017年3月の利用者数  
※7：2018年12月～2019年3月の利用者数

### スキー場関係者の声

鷲ヶ岳スキー場

- ・今年は、暖冬による雪不足の影響があったにもかかわらず、4車線化後に多くのお客さまにご利用いただきました。
- ・4車線化により、高鷲IC付近での朝方の渋滞が解消され、お客さまが早く到着できるようになり、**長い時間スキー場を楽しんでいただけるようになりました。**

### 温浴施設関係者の声

桜香の湯

- ・以前と比較して、**スキー客の利用が大幅に増加**しました。これは、4車線化により、渋滞が緩和されたため、スキー客の時間が有効に使えるようになり、お客さまが増えたのではないかと考えています。

# [整備効果②] 交通混雑期の渋滞が9割減少！

- 2019年度のゴールデンウィーク（GW）期間中の交通量が**約3割増加**（全国の高速道路で平均約2割増加）
- 一方で、大幅に交通量が増加したにも関わらず渋滞は**約9割減少**！
- スムーズな交通が確保され周辺地域の観光振興に期待

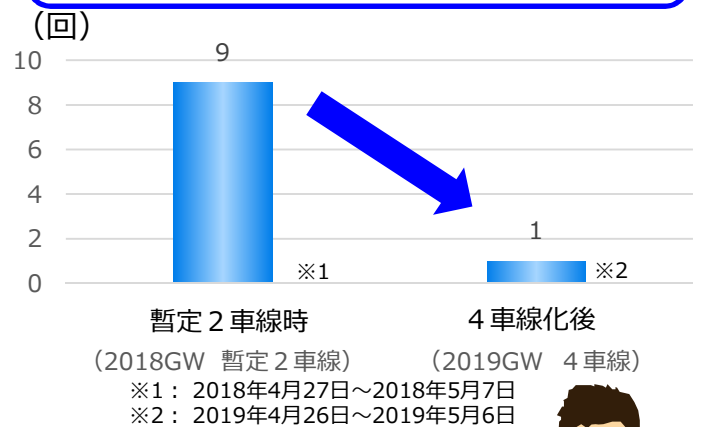
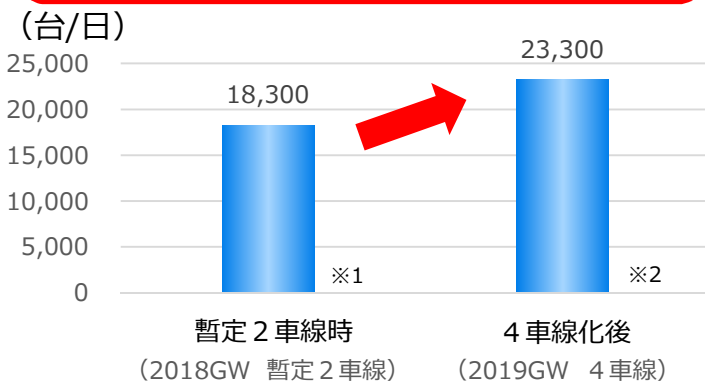
## ◆ 交通混雑期（2019年度ゴールデンウィーク）の渋滞削減

○GW中の日平均交通量  
（白鳥IC～飛騨清見IC）

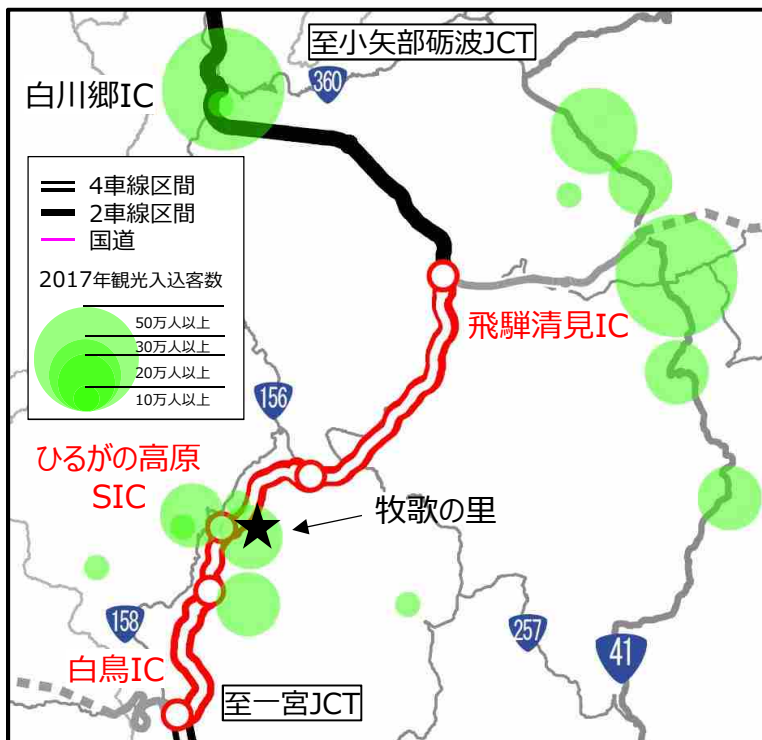
○GW中の渋滞回数  
（白鳥IC～飛騨清見IC）

**GWの交通量が約3割増加！**  
（全国の高速道路は平均約2割増加）

**交通量が大幅に増加したにも関わらず**  
**GW期間の渋滞は9割減少！**



## ◆ 周辺地域の観光振興に期待の声



出典：平成29年岐阜県観光入込客統計調査

### 観光施設関係者の声

牧歌の里

- ・暫定2車線時のGW期間は、白鳥ICや高鷲トンネルから渋滞が発生していましたが、**4車線化により渋滞が大幅に減少**しました。
- ・4車線化後、お客さまに**スムーズ**に来園していただけるようになり、**来園者数は増加**しました。
- ・移動時のストレスなく当園を楽しんでいただけようになりました。

出典：NEXCO中日本ヒアリング調査（2019年5月）

### 東海北陸道利用者（観光者）の声

- ・渋滞がなく、時間的に安心して来れるようになったので、この地域に来る回数が増えました。
- ・暫定2車線時は国道41号を使うことがありましたが、4車線化により、**安全でストレスなく走れる**ので、東海北陸道を利用する回数が増えました。

出典：NEXCO中日本ヒアリング調査（2019年5月）

# [整備効果③] 安全性・安定性の向上

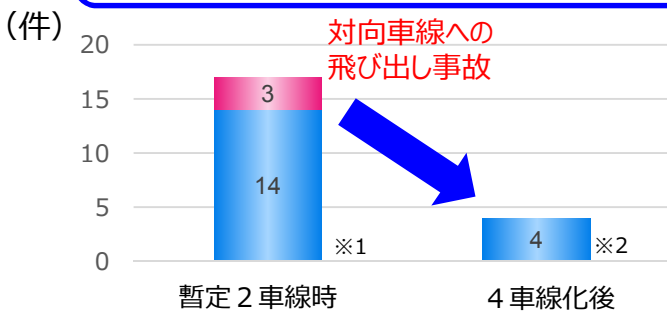
- ▶ 4車線化により渋滞が解消し、**事故件数が1/4に減少!**  
対向車線への飛び出し事故が**ゼロ**になるなど、暫定2車線の課題が解消
- ▶ **通行止め回数も約1/5に減少**し、東海地方ー北陸地方間の物流の安定性向上に期待

## ◆ 4車線化による事故の減少

○ 4車線化前後の事故件数

(東海北陸道 白鳥IC~高鷲IC)

**事故件数が約1/4に減少!**  
**対向車線への飛び出し事故がゼロに!**



※1: 2017年12月2日~2018年4月21日

※2: 2018年12月1日~2019年4月20日

出典: NEXCO中日本調べ

○ 暫定2車線区間 事故状況

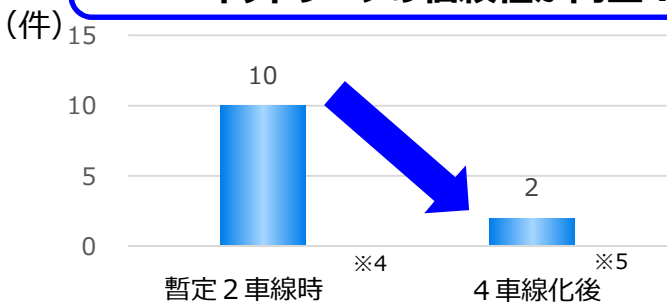


## ◆ 4車線化による通行止めの減少

○ 4車線化前後の通行止め件数※3

(東海北陸道 白鳥IC~高鷲IC)

**通行止めが約1/5に減少!**  
**ネットワークの信頼性が向上!**



※3: 工事以外の要因による通行止め

※4: 2013~2017年度の5年間(12月1日~翌4月20日)の平均

※5: 2018年12月1日~2019年4月20日

出典: NEXCO中日本調べ

○ 暫定2車線区間 通行止め状況 (冬期)



○ 4車線化後の状況



## 物流事業者の声

A運送会社

- ・車の流れがスムーズになり、目的地への到着が以前より早くなりました。
- ・暫定2車線時には、通行止め、渋滞による延着の恐れがありました。通行止めの減少や渋滞の緩和により**到着時間の予測**ができるようになりました。

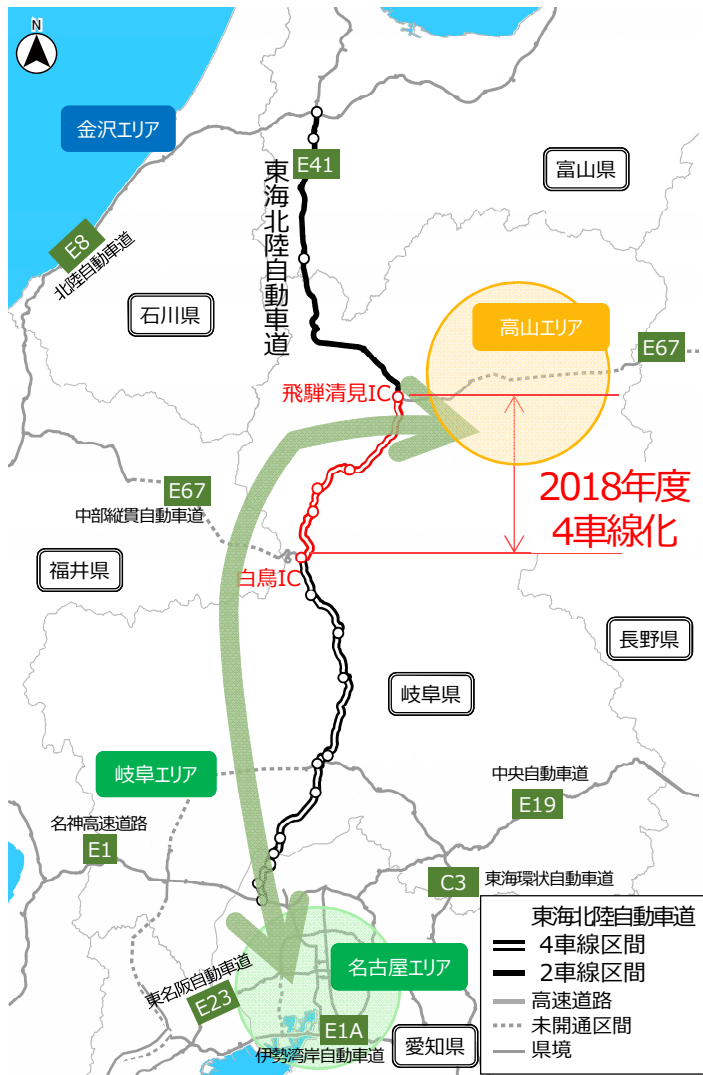
出典: NEXCO中日本ヒアリング調査(2019年5月)

# [整備効果④] 高速バスの利便性向上

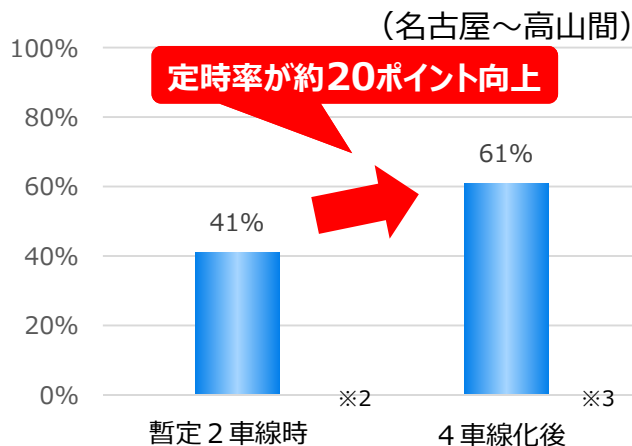
- GW期間中の東海北陸道での渋滞による遅れが減少し、高速バスの定時率が**20ポイント程度向上!**
- 交通事業者のサービス向上が図られ、高速バス利用者が増加し、**交通の利便性向上**に寄与。

## ◆ 高速バスの定時性向上に伴う利便性向上

### ○ 高速バスのルート



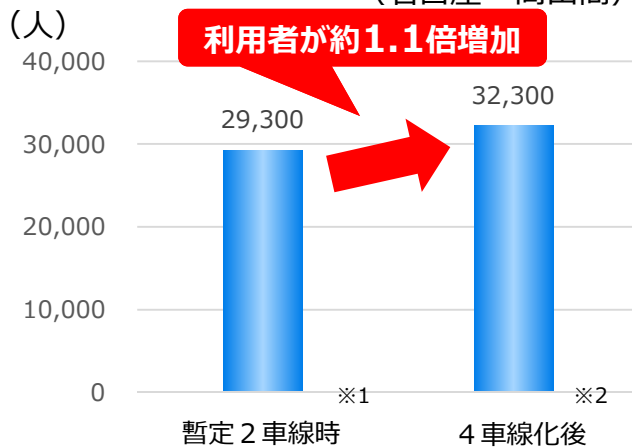
### ○ GW期間中の高速バスの定時率



※1: 終点のバス停に到着した時刻の遅延が5分以内の割合  
 ※2: 2018年4月27日～2018年5月6日の定時率  
 ※3: 2019年4月27日～2019年5月6日の定時率

### ○ 高速バスの利用者数の推移

(名古屋～高山間)



※1: 2018年3月21日～2018年5月6日の利用者数  
 ※2: 2019年3月21日～2019年5月6日の利用者数



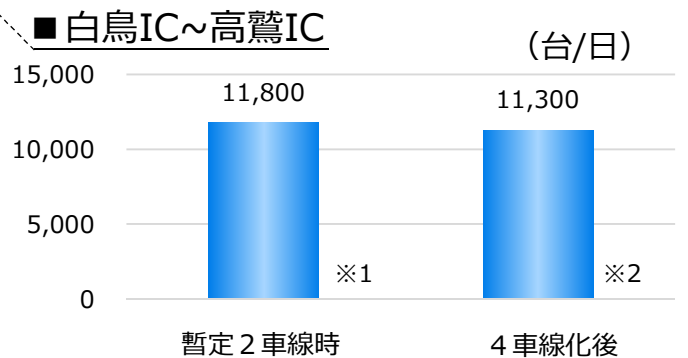
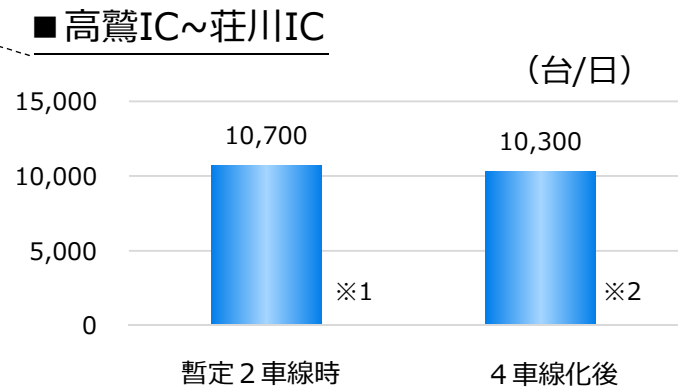
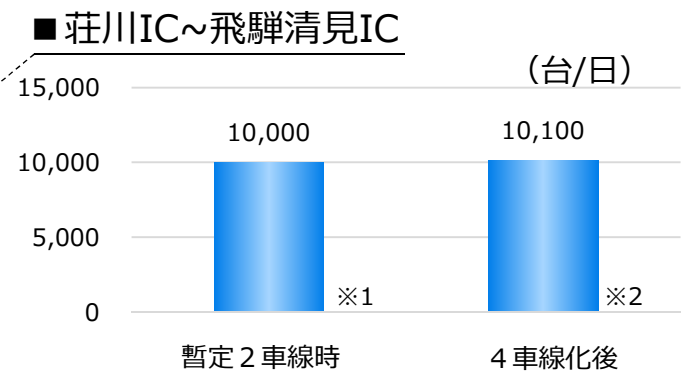
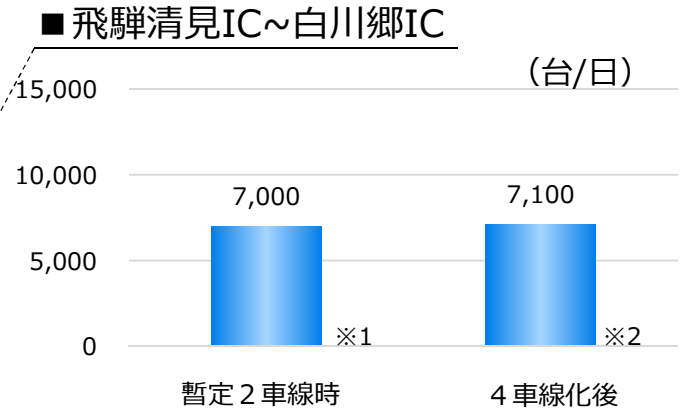
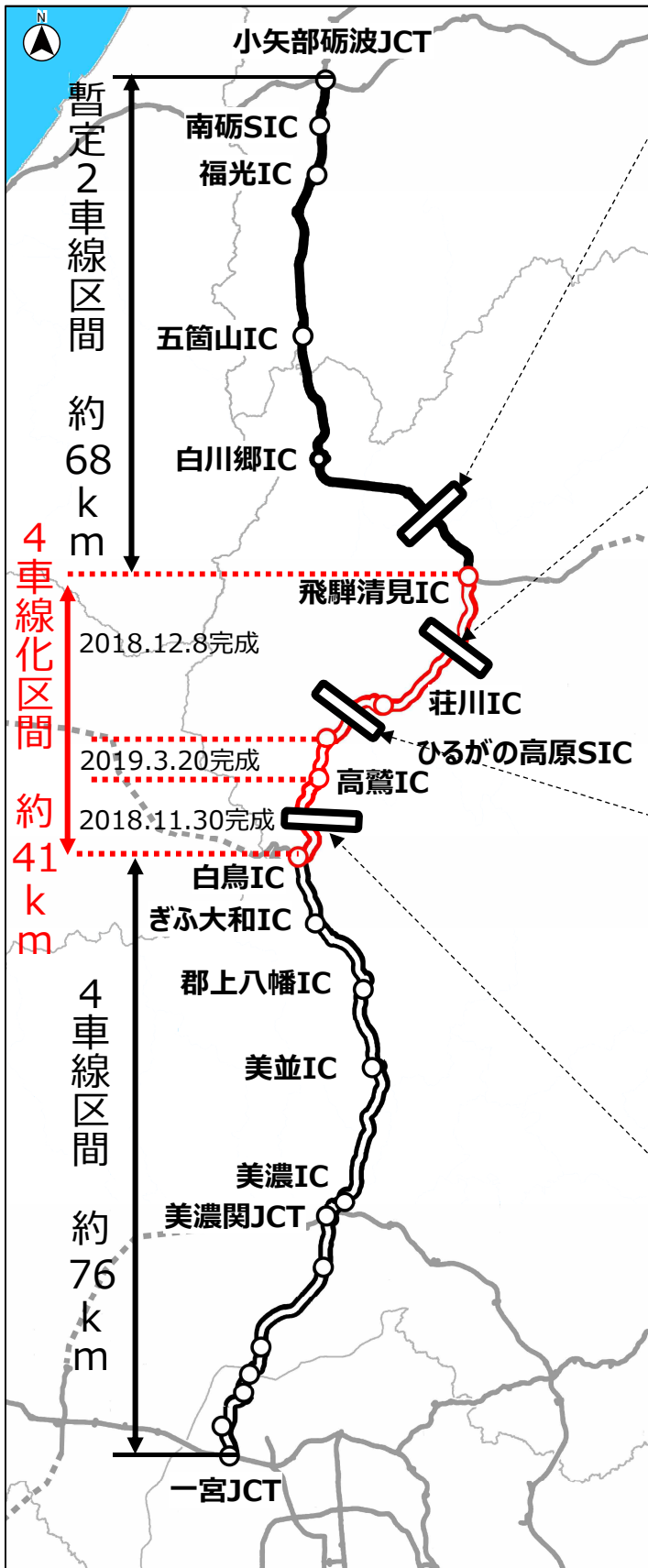
### バス事業者の声

濃飛バス

- ・4車線化された区間の渋滞は目に見えて減少しております。
- ・ゴールデンウィークでも目立った**渋滞に巻き込まれることはありませんでした。**
- ・**東海北陸道の全線4車線化の早期開通を期待しております。**

# 【参考】4車線化完成後の交通状況

## ◆ 路線概要



※1：2018年3月22日~2018年4月21日の1日あたりの平均断面交通量  
 ※2：2019年3月21日~2019年4月20日の1日あたりの平均断面交通量  
 注) 道路に備え付けられている交通量(概数)の自動計測装置による断面交通量【全車種】